

令和3年度第5回
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
議事要旨

- 1 日時 令和4年1月24日(月)午前9時30分～
- 2 場所 大阪市役所 屋上階(P1)会議室
- 3 出席委員 (会場出席)高嶋委員長、梅田委員、田辺委員、奈良委員
(ウェブ会議出席)戸部委員、平野委員
(欠席)吉川委員

4 議事内容

(1) 公立大学法人大阪第1期中期計画の変更について

- ・ 事務局から資料1-1から1-7に基づき、中期計画の変更について説明があった。
- ・ 法人から資料1-4及び1-5に基づき、中期計画の変更案について説明があった。
- ・ 事務局及び法人からの説明を受け、公立大学法人大阪第1期中期計画変更案の審議が行われ、次回の審議において、中期計画の変更案の修正等を踏まえ、評価委員会としての意見を決定することとした。

<主な意見>

- 学士課程教育の充実(計画番号:大1)
 - ・ デジタルへの対応にかかる記載について踏み込んでほしい。将来の変化を見通したうえで対応できるように取り組むなど何かしらの形で明確に示してほしい。
- 学習支援(計画番号:大5)
 - ・ ティーチングスタッフは一般的には教員を含めた広い意味で用いられる。TF(ティーチング・フェロー)、TA(ティーチング・アシスタント)、SA(スチューデント・アシスタント)などを指すというのを明確にするよう表現を修正頂きたい。
- 研究力の強化(計画番号:大12)
 - ・ 卓越した研究者を育成する、世界水準の研究を行うということを明記いただきたい。
 - ・ 研究力の強化について、定量的な数値に拘るわけではないが、挑戦的かつ具体的な達成水準・目標を記載すべきではないか。
- 研究推進体制の整備(計画番号:大13)
 - ・ 一般の方に誤解がないように、本文において、学術研究推進本部の下に3つの部門を設けている旨を記載いただくなど、わかりやすい表現にして頂きたい。
- 都市シンクタンク機能・技術インキュベーション機能の整備(計画番号:大19)
 - ・ 2つの新機能に関して、イノベーション・アカデミー構想と2つの新機能をそれぞれ関連付けていただきたい。2つの新機能のそれぞれがどのように実現されるかを記載いただきたい
- 理事長のトップマネジメント、学長・校長のリーダーシップ(計画番号:法1、法2)
 - ・ リーダーシップが発揮される体制など、理事長・学長のリーダーシップを重要視すべき。

- 挑戦的な取組にはリーダーシップが必要。研究力の強化の計画において、リーダーシップを発揮し挑戦的な目標に取り組むことについての記載の検討を踏まえ別途議論する。

以上